

分類	番号	質問	はい	どちらか	いいえ	意見など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	3	8	0	事業所外で活動するなど工夫している。来年度は少人数制も導入する。
	2	職員の配置数は適切であるか	7	4	0	病欠などの場合代替要員がない。求人中。来年度は少人数制を導入。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	3	4	4	車いすで入れるトイレはない。
業務改善	4	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	10	1	0	個別支援計画の下、支援員と児童発達支援管理責任者が具体的な支援方法検討している。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	11	0	0	年一度の自己評価の他、学期毎にアンケートを実施し、業務改善に繋げている。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	8	3	0	保護者には印刷全家庭に配布している。また、ブログで公開している。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	0	5	5	第三者評価は行なっていない。今後検討したい。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	10	1	0	Eラーニング、外部研修、内部研修を行なっている。今後も機会を増やしたい。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	11	0	0	個別支援計画の下、毎月下位計画を立て、PDCAを繰り返している。より客観的な分析ができるよう評価能力向上を目指したい。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	7	4	0	Vineland-II、ワーキングメモリ評価などを導入している。数値化されることで見える化された。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	9	2	0	常勤職員が中心となりプログラムの立案している。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	10	1	0	お子さんの意見なども取り入れ検討している。意図的に目的を持って固定化しているものもある。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	6	5	0	長期休暇中の外出などでは、担当外の子の支援に入ることも多く個々の課題周知が行き届かない時がある。支援者の共通理解を深めていく必要がある。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	9	2	0	個別支援を行う土曜日のプログラムのみを利用しているお子さんに対しては、集団活動の機会が提供しづらい。学校休業日など活用している。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	9	2	0	支援前の打ち合わせは行なっている。「誰が何をどこまで」という認識がずれていることがあるため、今後もより細やかな打ち合わせが必要である。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	10	1	0	支援終了後非常勤同士の情報交換の時間が少ない。口頭での申し送りの他、記録ツールもあるがより良い方法を検討していきたい。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	11	0	0	支援担当者が記入し、管理者が日々チェックしている。月末に記録を見直し、支援内容の検証をチームで行なっている。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	10	1	0	最長6ヶ月に1度のモニタリングを行なっている。その他、新しいニーズや課題があった時、目標を達成した時などは適宜見直しを行なっている。

	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ て支援を行っているか	8	3	0	行なっているプログラムは、ガイドライン総則の基本活動のうちどれに属するのを意識して支援を行なっている。周知が足りないため周知していきたい。
関係機 関や保 護者 との連 携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	10	1	0	基本は管理者兼児童発達支援責任者が参画している。その他、必要に応じて担当の指導員が参画している。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	10	1	0	保護者経由で年間計画・行事予定・下校時刻は頂いている。送迎職員についての情報共有は年度始めに書面で行っている。送迎に関する情報共有やトラブル発生時の連絡は適切に行なっている。お子さんによっては、保護者の許可を得て通級や担任の先生との連絡を行なっている。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	3	5	3	医療的ケアが必要な児童は現在通所されていない。主治医の連絡先情報は保護者から頂いている。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	1	8	2	今年度1年生が1名いたが、保育所等との情報共有は行えていない。昨年度は2名実施。来年度は実施予定。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	1	9	1	昨年度、障害福祉サービスへ行こうとした方については情報提供を行なった。今年度は対象者がいなかった。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	8	1	1	トスカへは電話相談1回。東京小児療育病院からは地域療育等支援事業の訪問指導を受けている。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	4	5	2	児童館、地域公園、地域行事などで障害のないお子さんとの交流機会がある。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	6	3	0	自立支援協議会の下部会である「放課後等デイサービス部会」に毎回参加している。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	9	2	0	保護者がお迎えの際に状況をお伝えする他、月一回経過をまとめて保護者にお伝えし、感想や要望を確認している。
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	7	2	2	事業所で上手くいった支援方法を伝えたり、相談面接の際に一般的な支援方法について提案している。	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	11	0	0	運営規定は掲示し、内容変更の際には書面で配布し保護者会でお知らせしている。支援内容はプログラムとスケジュールを事前にお知らせし、結果をサービス提供記録に記載し報告している。利用負担については、契約時説明を行う他、行事などの際には自己負担額や用途について事前連絡し、使用した金額報告などをしている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	11	0	0	モニタリング時、また希望時に相談面接を行なっている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	10	1	0	保護者会は学期毎に開催している。その他、茶話会や地域イベントへの出店など保護者交流ができる機会を設けている。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	11	0	0	苦情対応の体制は整備し周知している。苦情があった場合、迅速な対応を心がけている。全ての方のご要望通りに対応できないこともある。ご意見は真摯に受け止め、限られた予算や人員の中で何ができるかを検討し対応させて頂いている。

	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	11	0	0	毎月「トライきつず通信」を発行し、1ヶ月の活動報告、次月の予定、連絡事項などをお子さんや保護者に発信している。その他、ブログなどで活動報告を行なっている。
	35	個人情報に十分注意しているか	11	0	0	個人情報保護の研修を行い、記録類の管理、事業所外への漏洩の防止に注意している。メールの誤送信事故が発生したため、メール送信前に複数名での職員で指差し呼称しながら確認作業を行っている。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	10	1	0	注意喚起、わかりやすい声かけ、ひらがな表記、絵カードなどの視覚支援、身振りなどを行っている。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	6	4	1	地域の方にボランティアとしてきて頂いた。また、地域のお祭りやイベントに参加し、事業所の紹介を行なった。今後、地域の方との交流を深めていきたい。
非常時の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	11	0	0	マニュアルは保護者会で配布している。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	11	0	0	月1回、曜日を変えて避難訓練を実施している。より多くの方が参加し、様々なシチュエーションで必要な体験ができるよう、さらに内容を工夫していきたい。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	11	0	0	虐待防止研修は外部研修に2名が参加し、伝達講習を行った。グレーゾーンがなくなり、より自信を持って適切な対応が行えるように、今後とも職員が高い意識を持ち、それぞれの支援について意見交換を行い、共通認識のもと支援を行えるよう努力したい。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	9	2	0	特性を鑑み、未然防止策を講じても、緊急やむおえない事態が予測される場合は、「手を繋ぐ」「お友達から離れて安全な場所に移動する」などの対応を行うと説明し個別支援計画に記載することがある。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	4	6	1	医師の診断書や指示書はないが、保護者からの申告によりアレルギーを把握し、対応している。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	8	2	1	ヒヤリハットを記録しているが、都度解決策を検討しており、まとまったデータの集計・分析がうまく進められていない。